

会議録

会議の名称		第5回豊中市環境審議会 第13期	
開催日時		令和4年(2022年)1月24日(月) 14:00-15:35	
開催場所		第二庁舎3階大会議室 (WEB開催)	公開の可否 ☒ 可 ☐ 不可・一部不可
事務局		環境部環境政策課	傍聴者数 2人
公開しなかった理由		—	
出席者	委員	上甫木委員、猪井委員、上田委員、小杉委員、小谷委員、田中晃代委員、花嶋委員、加納委員、大橋委員、田中偉夫委員、熊本委員、廣田委員	
	事務局	糸井部長、甫立次長兼環境政策課課長、山本主幹、多々主幹、濱崎課長補佐、豊田係長、石原主査、今川主査、結城主事 道端資源循環長、立谷減量計画課長、鈴木係長 澤田事業ごみ指導課長、池田係長 公園みどり推進課 奥田係長	
	その他		
議題		1. 環境審議会答申(案)について(審議) - 第3次豊中市環境基本計画の進行管理について 豊中市環境報告書「とよなかの環境～2020年度評価と今後に向けて～」について - 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画の改定について	
資料		資料1: 豊中市環境審議会 答申(案) 資料2: 豊中市環境報告書「とよなかの環境～2020年度評価と今後に向けて～」(案) 資料3: 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画(改定版)(素案) 参考資料1: 豊中市環境報告書「とよなかの環境～資料編～」(案) 参考資料2: 第13期環境審議会名簿	
審議等の概要 (主な発言趣旨)		別紙のとおり	

○事務局

- ・会議の進め方の説明
- ・資料の確認
- ・出席状況の確認
- ・事務局の紹介

○会長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず、案件1について、資料1、資料2の説明を事務局からお願いします。

1. 環境審議会答申（案）について（審議）

○事務局

資料1、資料2の説明

○会長

ただ今の説明に関してご質問等はございますか。

○委員

「審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方」では、市民意見に対する回答と審議会評価に対する回答が混在しており、わかりにくいと思います。去年は市民の意見が多かったので、市民の意見に答える形式で良かったのですが、今回は見せ方を工夫する必要があるのではないかと思います。

また、17ページの「とよっぴー」に対する意見で、「循環型社会の形成に向けて～」とありますが、この表現では目標3が想起されるため、目標4の回答としては別の表現をする方が良いと思います。

また、資料編の58ページで、目標1「普及啓発について」の項目の中に「ごみ分類の教育活動」に関する意見がありますが、ごみに関連する内容であるため、目標3に位置付けてよいのではないかと思います。

○事務局

レイアウトは、去年の形式を踏襲していますが、事務局でも表現は検討したいと思います。

「とよっぴー」に対する意見で「持続的な循環型社会の形成に向けて～」という文言は、事務局において検討します。

ごみ分類の教育活動に関する意見ですが、目標1に「環境学習」を位置づけているため、目標1に分類しています。

○委員

1点目は、例えば、市民意見と審議会評価に対する市の考え方を分けて記載するという示し方もあると思います。

○会長

「とよっぴー」に関する記載については、表現の修正を検討していただきたいと思います。

「審議会評価や市民からの意見に対する市の考え方」のレイアウトについては、審議会と市民の意見が重複する部分もあるので、表現について事務局と検討させていただきます。

○委員

40 万人都市の豊中市で、市民意見が 8 件というのは少ないと感じました。意見を募るための周知方法はどのように考えておられますか。SNS や環境団体への声掛けなども考えられるのでしょうか。

○事務局

市民意見が少なかったので、期間の延長や市の公式 LINE の活用を行いました。来年度はより多くの意見が出るように、SNS などの媒体の活用を検討したいと考えています。

○委員

市民参加というのも主権者教育の一つとして、高校生のカリキュラムとの協働も検討してはどうかと思います。

○会長

他にご意見はありますか。

○委員

「3. 計画の進行管理」において「次年度の予算を加えて」という表現がわかりにくいです。PDCA サイクルの中で、進捗管理として予算額を検討する必要はあるのでしょうか。

○事務局

現段階では予算額が確定していないため、未定稿部分は資料から削除しました。公表時には「令和 4 年度の事業」において実施事業とその予算額について追記を予定しています。

○会長

委員の意見は、「予算を加えて」という表現によって予算の増額・見直しが想起されるものの、実際翌年度の PDCA においては反映されないのではないかという指摘かと思います。

○事務局

表現を検討したいと思います。

○委員

第 3 章の「動画コンテンツ」では、1 年前と同様のコンテンツも含まれており、ページが拡

張されていますが、特にページ数を増やす必要はないと思います。また、動画のアピールをするのであれば、サムネイル画像を拡大するなど、見せ方を工夫してはどうでしょうか。

○事務局

ページ数や見せ方を再検討します。

○会長

修正の内容に関しては会長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

続いて「第2次豊中市地球温暖化防止地域計画の改定について」、資料3の説明を事務局からお願いします。

○事務局

資料3の説明

○会長

ただ今の説明に関してご意見・ご質問をお願いします。

○委員

105ページのグラフが37ページにも掲載されていますが、現行計画の目標である-32.1%を改定するということを、37ページに明記したほうが良いのではないのでしょうか。44ページに至るまで、目標数値を現行のままとするのではないかと誤解される恐れがあります。

また、温室効果ガスの削減目標量の数値が記載箇所によって異なっています。45ページでは市民一人あたり2.36t-CO₂に抑制と記載されているが、98ページでは、2.02t-CO₂と記載されています。

○事務局

37ページは、改定前の経過と現状を記載しています。この内容は改定に向けた前段の説明ですが、ご指摘の通り、読み手にとってわかりにくい可能性があるため、構成を再度検討したいと思います。

温室効果ガスの削減目標量の数値について、統一できていない箇所は確認し修正します。

○委員

93ページの進行管理に用いる指標で、数値目標が新たに追加されていますが、数値のみの記載では増減を把握できません。数値に関する説明を追記する必要があると思います。

○事務局

説明を追記します。

○委員

現行計画と改定後の計画がやや混同した書きぶりでわかりにくい印象です。例えば 24 ページには「豊中市地球温暖化防止地域計画（チャレンジ70 プラン）」（前計画）とあるが、前計画というのは第1次をさしているという認識で良いのでしょうか。もしくは第2次の改定前の計画でしょうか。第1次と第2次、及び今回の改訂後の計画があるため、例えば「同計画」や「現行計画」といった表現は、読者を混乱させやすいと思います。

○事務局

各計画の表現は検討したいと思います。

○委員

51 ページの豊中市のイメージ図と、下段の「広域連携の考え方」の文章のつながりがわかりにくいです。文章の位置を変えたり、広域連携につながる図を加えたりするような工夫が必要だと思います。

79 ページに「多様な参画のしくみづくり」とありますが、「参画」ではなく単に「参加」の取組みもあるため、表現を検討してほしいと思います。あわせて、80 ページの省エネ相談会における市の取組みは、特徴5ではなく特徴1に位置付けてもよいのではないのでしょうか。

94 ページ表 3-1 の進行管理に用いる指標では、「目標達成に向けた方向性」の中で各部門別の削減割合が示されている一方、99 ページ表 3-7 では t-CO2 で表記されています。部門別の削減目標の表記方法を統一してもよいと思います。

101 ページ図 3-4 のなかで、産業部門に「省エネ行動」がありますが、家庭部門に「省エネ行動」項目が見られません。市民に省エネ行動を訴えるのであれば、家庭部門では限りなくゼロに近い値であっても、項目として立てておくべきではないのでしょうか。

117 ページの答申は、鑑のみが挿入されるという予定でしょうか。

○事務局

51 ページですが、コラムの位置関係は最終調整の段階で見直す予定です。

79 ページの参画のしくみづくりは、現行計画の文言を踏襲しているが、内容との整合性の観点から、文言を検討したいと思います。また、省エネ相談会に関する特徴1と特徴5の表現についても調整します。

進行管理の指標の数字の統一については、割合と総量の関係性をより明確にできるよう表現を検討します。

また、答申案は、現段階では鑑のみを挿入する予定です。

101 ページの図 3-4 のご指摘ですが、産業部門における「省エネ行動」は法に基づく省エネ行動として記載しています。また、家庭部門における各項目は、省エネ行動に相当する部分があるため、「省エネ行動」としての項目は設定していません。

○委員

図 3-4 は、家庭部門は各項目をあわせてすべてが「省エネ行動」に該当するといった注釈を加えるなどの工夫があると望ましいと思います。

答申の鑑の資料である本編に、鑑文が再掲載されると、混乱を招く恐れがあります。本編自体が答申の資料であるという旨の注釈が必要ではないかと思います。

○事務局

答申には注釈の追記も検討しております。

図 3-4 も注釈を加えるなど、市民の省エネ行動がどのように関わってくるのか、わかりやすく表現できるようにしたいと思います。

○委員

88 ページに「マスクが危険」という文言がありますが、実際はマスク着用時に熱中症の恐れがあることへの注意喚起であり、マスク自体が危険という意味ではないため、誤解を招かないように表現を修正いただきたいと思います。また、「特に高齢者が危険」には説明文がないため、1～2行程度の説明を追記いただいた方が良いと思います。

○事務局

表現を修正します。

○委員

87 ページに、総合ハザードマップは「市役所、新千里出張所、庄内出張所で配布しており」とありますが、昨年全戸配布されています。全戸配布済みであることが分かるような表現を工夫してもらいたいと思います。

計画中には、「t-CO2」や「GJ」などの専門的な単位が登場し、数値間の比較が難しいため、計画本編にも注釈が付記されるとよいと思います。

○事務局

総合ハザードマップについては危機管理課にも確認し、書きぶりは検討します。

単位については、読者が参照できるような説明文の記載を検討したいと思います。

○委員

市民に手に取って読まれなければ意味がないため、ターゲット層をしぼっても良いのではありませんか。また、読み手である一般市民を意識した発信方法等も検討してはどうかと思いました。

○会長

計画以外に、市民向けに簡略化した資料などを作成する予定はあるのでしょうか。

○事務局

計画はすべてのターゲット層に発信をしなければいけないという性質もあり、本編は専門的な用語や考え方を含んでいます。また、計画本編の概要版の作成を進めています。今後、市民に対して、どのような発信が効果的なのか引き続き検討していきたいと思います。

○委員

現行計画では「チャレンジャー70プラン」の愛称がついていますが、「ー70」が目標値ではなくなるため、愛称の更新等は検討されるのでしょうか。

50 ページ 図 2-1 について、読み手に応じて着目する部門や取組みが異なるため、関心に応じて、適宜対応する取組みを参照できるような説明を挿入できるとよいのではないかと思います。

○事務局

「チャレンジャー70プラン」の愛称については具体的なプロセスは未定ですが、変更を検討しています。

図 2-1 の表現修正は、事務局でも検討しましたが、現行計画を踏襲する中では変更が難しいと判断しました。

○会長

他にご意見はいかがでしょうか。

資料の修正方法ですが、会長一任とするにはボリュームが多いため、事務局はご発言いただいた方に修正の方向性を確認していただきたいと思います。地域計画については、発言の委員、部会長に修正内容のご確認をいただいてもよろしいでしょうか。このような手順で修正を図り、最終的に会長に一任いただきたいと思います。

以上で本日の案件は終了しました。事務局へ進行をお返しします。

○事務局

本日で第 13 期豊中市環境審議会は最終となりますので、環境部長からあいさつさせていただきます。

○事務局

あいさつ

○事務局

後日、本日の資料のデータをメールにて送付させていただきます。2 月初めにいただく予定の審議会答申も、後日委員のみなさまに共有させていただきます。

以上